



たんぽぽ組だより 1月号



令和4年 11月18日 ことり保育園 担当 瀬尾

日中のポカポカとしたお日さまがより暖かく感じられる程
朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。

最近では、朝の体操を以上見エムと一緒にこなしています。

バスから降りるとテラスにリュックを置いて、並ぶ準備をしています。

お兄さん、お姉さんを見ながら、「1、2、3、4...」と元気な声を出し、手足を大きく伸ばして体を動かしています。

また、生活面では、椅子や給食の皿の片づけを子ども達が行なっています。

子ども達に、「おしりを付けるところと背中のところを持ってね。」と正しい椅子の持ち方を伝えました。「先生ちゃんと持ってたよ。どうぞ。」と言って保育者に渡してくれます。給食時、「食心終わった子はお皿を重ねてね。」と声を掛けると、机の真ん中に集め、皿の向きを考えながら置いている姿が見られます。保育者に、「片づけ出来たから持ってきてね。」見通しがついて保育者に伝える姿に成長を感じます。

製作では、七五三の飴袋作りをしました。白い画用紙に丸や花の形の画用紙をのりで貼りました。保育者が「のりはどのくらい指につけるの?」と尋ねると、「これくらい。」と言って、指先にほんの少しとり見せてくれました。

「少しだけ」「アリさんくらい」というのを覚えたようです。好きな色、形の画用紙を自分で選ぶ思い思いの作品が出来上がりました。

集中して取り組む子が多く、「も、とやる」と意欲的でした。

これからも、子ども達が楽しんで活動し、出来ることを増やしていけるように過ごしていきたいと思います。

